

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5	理科	雲と天気の変化「台風による災害への備え」	オクリンクプラス

授業内容

台風による長雨や集中豪雨などの気象情報から、災害に対する備えについて考える

準備：

- ・共有コードを使用してカードを取得する。
- ・全体共有用のみんなのボードを1つ用意する。（全員のボードでも可）
- ・準備したカード「台風災害時の行動」を子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

1. 教科書などの台風の被害の写真を各自見る、あるいは消防庁の動画を全体で視聴して、台風によりどんな被害が発生するのか（洪水、がけ崩れ、高潮など）、台風の時にどんな危険があるのかを確認する。

動画：消防庁動画チャンネル クイズで防災を学ぼう！（台風編）（14分13秒）※台風の被害は5:00～

<https://www.youtube.com/watch?v=iXBcVPEwme0&t=19s>

2. 全体で、政府広報サイトにある資料で警戒レベルの意味を確認する。各自、カード「台風災害時の行動」を開いて「早期注意情報」から「避難指示」の間に、自分だったらどうするか考えて必要な行動を順番に並べる。カードをみんなのボードに送り、災害時にどんな行動をするか全体で確認する。

出典：政府広報オンライン「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難！5段階の「警戒レベル」を確認しましょう

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201906/2.html>

3. 先生がハザードマップポータルサイト「重ねるハザードマップ」などを紹介し、各自、インターネットで自分の住んでいる地域の災害情報や避難時に必要な情報を調べる。グループで情報を共有する。

※【操作説明】重ねるハザードマップや【資料】気象・災害情報サイトを参考にしてください。

出典：ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

サポータ
おすすめ
ポイント

- ・台風などの気象災害について知り、災害に対する備えについて、どのような行動をしたらよいかシミュレーションすることで考えを深めることができます。
- ・ハザードマップの実践的な使い方を学習することができます。

台風災害時の行動カード（例）

台風による災害時にどんな行動をしたらよいか考えよう

警報 / やること	
1	1：早期注意情報
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	4：避難指示 ★
10	家の人と一緒に避難する

2：大雨・洪水・高潮注意情報
3：沿岸高潮注意情報
5：緊急安全確保

インターネットで川の水位を見る
近くの川や水路を見に行く
気象情報を確認する
避難に備えて服やつを準備する
外出しないようにする
避難に備えて持ち物を準備する
避難するタイミングを決める
避難する手段やルートを決める
避難する場所を決める
夜なので避難せずに家にいる
強風で飛ばされそうなものを家の外にしまう

台風災害時の行動カード（入力例）

台風による災害時にどんな行動をしたらよいか考えよう

警報 / やること	
1	1：早期注意情報
2	
3	気象情報を確認する
4	外出しないようにする
5	強風で飛ばされそうなものを家の外にしまう
6	避難に備えて持ち物を準備する
7	避難に備えて服やつを準備する
8	避難する場所を決める
9	避難する手段やルートを決める
10	4：避難指示 ★
	家の人と一緒に避難する

共有コード

共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む

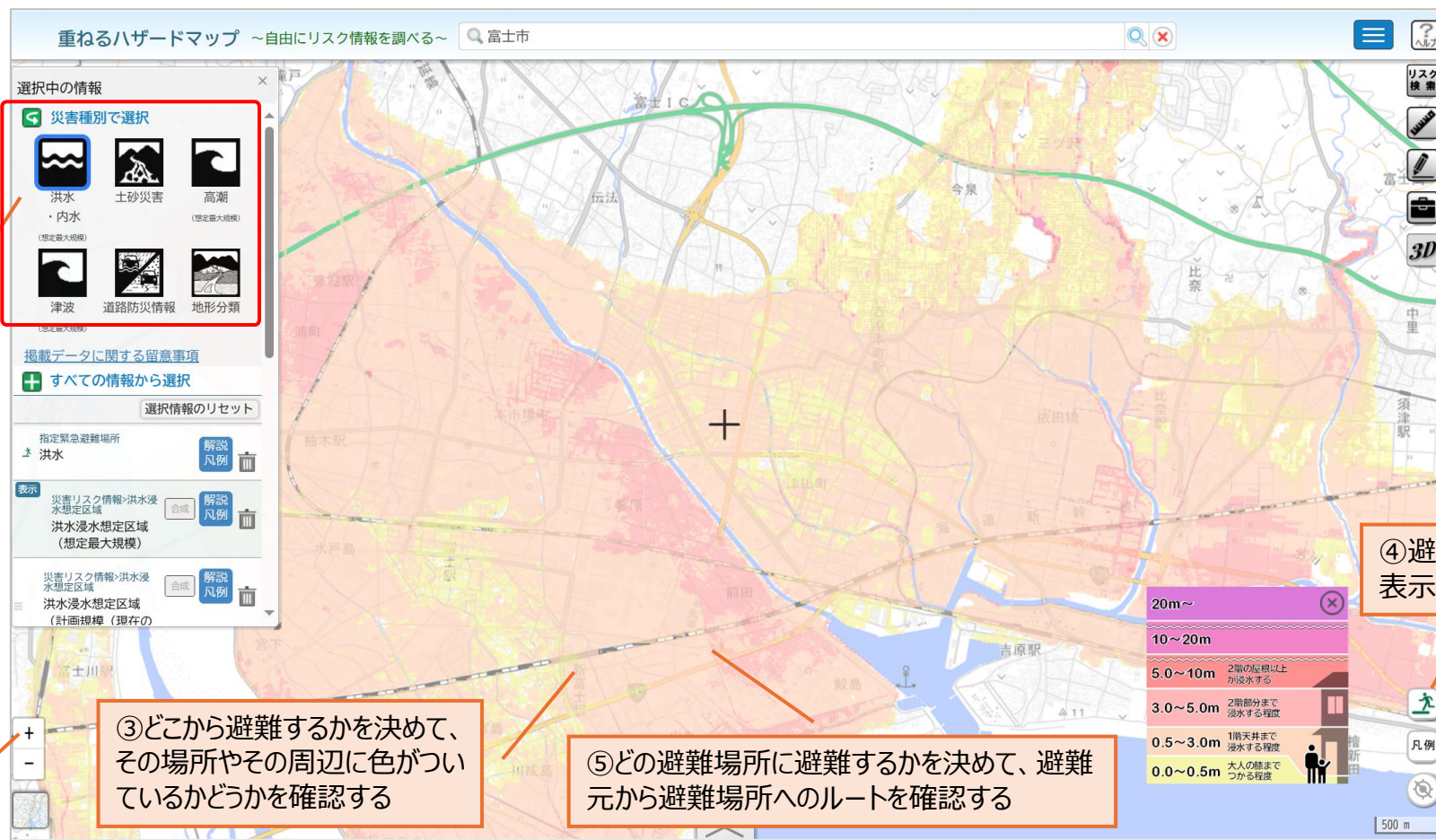


pb011JW8P5B28ARZ7FKKNN26YSAE5

【操作説明】重ねるハザードマップ

ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

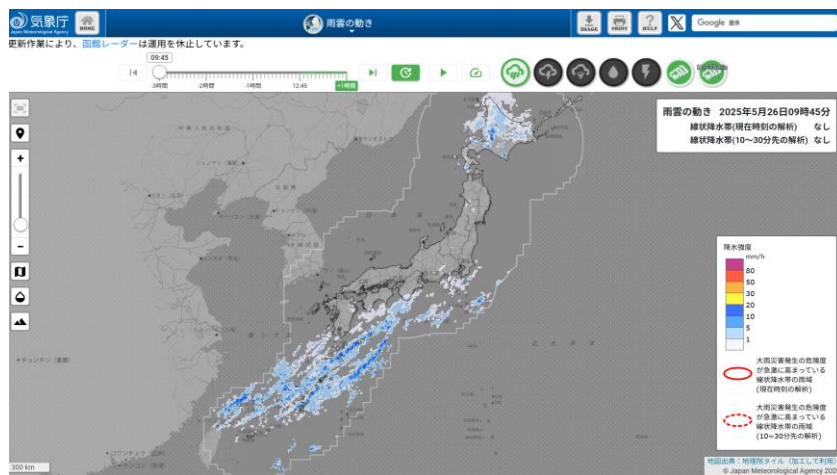
※「現在地から探す」を押すと、現在地が地図に表示されます。



ハザードマップを画面キャプチャーして画像をオクリンクプラスに挿入し、ペンで避難所までのルートを書き込むことも可能です。

◆雨雲の動きを確認する

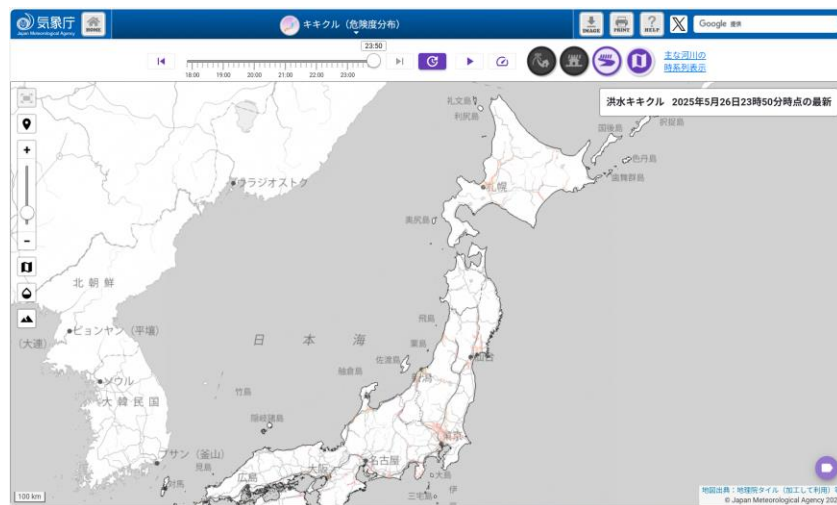
出典：気象庁ホームページ「雨雲の動き」(<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>)



「雨雲の動き」(気象庁ホームページより)

◆警報発表後に危険な場所を確認する

出典：気象庁ホームページ「キキクル(危険度分布)」(<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>)



「キキクル(危険度分布)」(気象庁ホームページより)